

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム みみつ

作成日: 令和 4 年 2月 28 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		計画書から目標を温度板に書き出し、その目標が実践されているか支援経過記録に記録しているが記録が簡素化されていて、モニタリングや計画書見直しに反映されていない。	入居者のその日の状況を詳しく記録に残すことで、月末のモニタリングや計画書の見直しの際に反映させることができる。	①「日中・夜間・受診」の項目以外に「体調・事故・処置・本人の訴え・行事・家族との交流」などを項目に加え、支援記録に残すことでモニタリングに反映させる。②当日、出勤していない職員にも状況が理解できる記録を行う。	4ヶ月
2		職員間の伝達事項・注意事項の申し送りが不十分で、内容を把握出来ていない職員がおり、ケアサービスが統一できていないことがある。	職員全員が申し送りを把握し、入居者のケアサービスが統一できる。	①申し送りは文章にし確認した職員は名前入りのチェック欄にチェックする。②文章で伝わりにくい内容は朝礼・終礼時に繰り返し説明を行う。③写真も活用する。	3ヶ月
3		iPADにて入居者と家族の交流を図る取り組みを行っているが、iPADの操作が苦手な職員がおり、家族への返事に対応できていない事がある。	家族からの連絡は、翌日中までに対応を完了させる。	①全員がiPADのライン確認ができるようになる。②夜勤者はiPADの充電とライン確認を行い、返信を行う。1人で判断できない内容の場合は、担当者から返答があることを伝える。③行事や誕生会での様子が報告できる。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

注) 完成したら市町村及び評価機関に提出して下さい。